

第一回由良川メディア連携協議会 議事概要

開催日時：令和3年3月10日（水） 10:00～11:30

開催場所：WEB開催

I 議事次第

1. 設立経緯について
2. 協議会規約について
3. 由良川メディア連携協議会の取組（案）について
4. 今後の予定について
5. 由良川及び災害時情報について
6. 意見交換

（出席者）

日本放送協会 舞鶴支局 海老塚記者
株式会社京都放送 報道局 藺田報道局長
株式会社読売新聞社 福知山通信部 森記者
株式会社両丹日日新聞社 編集部 駿河記者
福知山市 危機管理室 森下室長
舞鶴市 国・府事業推進室 白木室長
舞鶴市 危機管理・防災課 中地課長
綾部市 防災・危機管理課 大槻課長
京都府 砂防課 大石砂防課長補佐兼係長
京都府 中丹西土木事務所 桑場河川砂防課長
京都府 中丹東土木事務所 中村河川砂防課長
京都地方気象台 立神防災管理官
福知山河川国道事務所 矢野所長
福知山河川国道事務所 北方副所長
福知山河川国道事務所 調査課 松本調査課長
福知山河川国道事務所 調査課 松田建設専門官
福知山河川国道事務所 調査課 山口水防企画係員

（配布資料）

次第、出席者名簿

- 資料1：由良川メディア連携協議会の設立経緯
- 資料2：由良川メディア連携協議会規約
- 資料3：由良川メディア連携協議会の取組（案）
- 資料4：今後の予定
- 資料5：由良川及び災害時情報の概要
- 参考資料
 - ・参考資料1：住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト

開催趣旨

- ・参考資料2：近畿地方整備局における情報共有プロジェクトの取組状況
- ・参考資料3：地区名、河川名、施設名、観測所名等ふりがな一覧

II 議事概要（○：質問者発言，●：事務局応答）

■設立経緯について

由良川メディア連携協議会の設立経緯について説明を行った。

■協議会規約について

由良川メディア連携協議会規約が承認され、令和3年3月10日から施行となった。

■由良川メディア連携協議会の取組（案）について

由良川メディア連携協議会の取組（案）が合意された。

■今後の予定について

今後の予定について説明を行った。

■由良川及び災害時情報について

由良川の概要、災害時の情報、災害情報の取得方法等について説明を行った。

■意見交換

○今回、参加メディアは4社となっているが、今後増やす予定はあるか。【日本放送協会】

●今後、他のメディアにも声かけし、参加意思があるメディアには参加していただき、組織を拡大していく予定。【事務局】

○避難に関する情報をどのように出していくのかを検討することは非常に重要と思っており、避難情報の発信に関する取り組みを早急に進めて行くべきだと思うが、由良川における取組は、どのぐらいのスケジュール感で進めていく予定か。【京都放送】

●期限は定めていないが、人命に関わる取組は、優先的に取り組んでいく予定である。【事務局】

○読みがなリストや、リスク情報を事前に提供する等の取組は早急に進めていただきたい。また河川のリアル映像はどうすれば入手できるか。【京都放送】

●読みがなリストは今回参考資料3として配付している。必要な更新は随時していく予定。河川のリアル映像は、川の防災情報や由良川リアルタイム防災情報等のホームページで閲覧することができる。【事務局】

○ニュース等で、国土交通省等から公開されている映像を自由に使用してもよいか。【京都放送】

●ニュース等で利用可能かは個別に確認させて頂く。今回の資料を見て、提供して欲しい情報があれば連絡頂ければ個別に対応する。【事務局】

- これまで国土交通省等の機関から提供を受けた情報を基にした記事は掲載してきているが、これとは別に、メディア連携協議会を通じた防災関連の情報提供も行っていく予定か。また、その場合、情報はどのぐらいの頻度で提供してもらえるのか。【読売新聞社】
- 協議会は年 1 回の頻度で行い、必要な情報は随時提供していく予定。協議会として分かりやすい情報提供に取り組んでいくので、適宜協力をお願いしたい。【事務局】

- 避難インフルエンサーの養成等の取組は、実施主体がどこになるか分からないが、協議会で情報を集約されて提供してもらえれば紹介は可能なので、会議を開いていない期間でも随時連絡いただきたい。【読売新聞社】

- Youtube での緊急記者会見や、専門家による解説が取組案の中にあるが、新聞は締め切り時間があるので、配信時間を予め教えていただきたい。【両丹日日新聞社】
- 災害時の情報窓口を一つにまとめていただきたい。【両丹日日新聞社】

- 避難勧告を出しても、住民の避難につながっていないことがアンケート結果等から分かっている。昨年度から避難のあり方検討会を立ち上げて、どのようにしたら逃げてもらえるのか検討しており、要援護者施設からの避難、避難環境の検討をする中で、情報発信の仕方は、身近な人が情報を伝えた方が逃げてもらいやすいとか、地域に即した情報が有効であること等が分かってきた。メディアを通じた情報発信が、地域の人にとっては信頼でき、様々な媒体で取得できることから、効果が高いことが分かってきたので、今回の協議会を機会にメディアの方に協力をお願いしたい。【福知山市】

- タイムラインを活用した避難の取組を、地域の人と進めており、その中で地元の方は情報をどのように取得すればいいかを非常に気にしていることがわかった。メディアを通じて情報の提供の仕方を考えていきたい。【舞鶴市】

- コミュニティFM（FM いかる）には参加を打診しているか。電源が途絶えた時はラジオが活用でき、地域に密着した取組をしているので、声掛けをお願いしたい。【綾部市】
- 今回は声かけしていないが、次回の協議会までには打診する予定。【事務局】

- 水位情報や、土砂災害警戒情報をホームページで提供しており、この情報は、住民の避難に大きく関わってきている。こういった情報をメディア連携協議会を通じて、適切にメディアに伝えていきたい。【京都府砂防課】

- 自治体からハード整備の要望を頂いているが、ハード整備がなかなか進まない中で、防災情報等のポータルサイト等の紹介、京都府の情報提供を進めていくことを考えている。そのなかで、ポータルサイトを活用していきたいと考えており、場合によっては協力をお願いしたい。【京都府中丹西土木事務所】
- このメディア協議会を通じて情報提供が進み、住民の避難に繋がっていったらと考えているので、この協議会に大いに期待している。【京都府中丹東土木事務所】
- 大雨特別警報を解除するときに、由良川で氾濫発生情報、氾濫危険情報、氾濫警戒情報を発表している場合は、近畿地方整備局と大阪管区気象台で合同記者会見を実施することになっている。そのとき、雨が止んだ後でも河川の水位は上がっていくので、住民の方に警戒を継続するように伝えていただきたい。【京都地方気象台】
- いくら情報を発信しても、住民に伝わらなければ意味がない。地域の住民と直接的なやり取りが多いメディア、土木事務所、市役所、出張所の方々には、住民の声が届いていると思う。そういった住民の声を、この場で伝えていただいて、どんな情報が住民に必要なのか、どんな見せ方が望ましいのかを今後共有していきたいと考えている。情報元からは、どのようにしたらうまく伝わるのかを意見交換させていただいて、より分かり易く避難に繋がりやすい情報を発信していけたらと考えている。【福知山河川国道事務所】

以上